

2017年度（2018年3月期） 第3四半期 決算説明会

2018年2月15日

◆ 実績

- 前年同期に対して全てのセグメントで大幅な増収増益を達成。
- 特に電子デバイス事業とシステムソリューション事業の第3四半期営業利益は累計、期間とも過去最高益。

◆ 業績予想

- 第4四半期に半導体事業会社の株式の一部譲渡に伴う特別利益 約93億円が発生。
半導体事業会社は第4四半期以降、連結の範囲から外れ持分法適用会社となる。
- 足許の経済環境等が不透明なことから通期の連結業績予想は据え置く。

1. 第3四半期 連結業績

2017年度 損益 – 第3四半期 (累計 4月-12月) –

(億円)		16年度 Q3(累計)	17年度 Q3(累計)	増減	
				増減額	増減比
売上高		1,910	2,084	+174	+9.1%
売上総利益		715	795	+79	+11.2%
%		37.4%	38.1%	+0.7pt	
営業利益		56	114	+58	+103.1%
%		2.9%	5.5%	+2.5pt	
経常利益		54	119	+64	+118.9%
%		2.9%	5.7%	+2.8pt	
税金等調整前 四半期純利益		48	105	+56	+115.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		6	44	+38	+606.4%
%		0.3%	2.1%	+1.8pt	
換算 レート	USD	106.6	111.6	+5.0	+4.7%
	EUR	118.0	128.5	+10.5	+8.9%

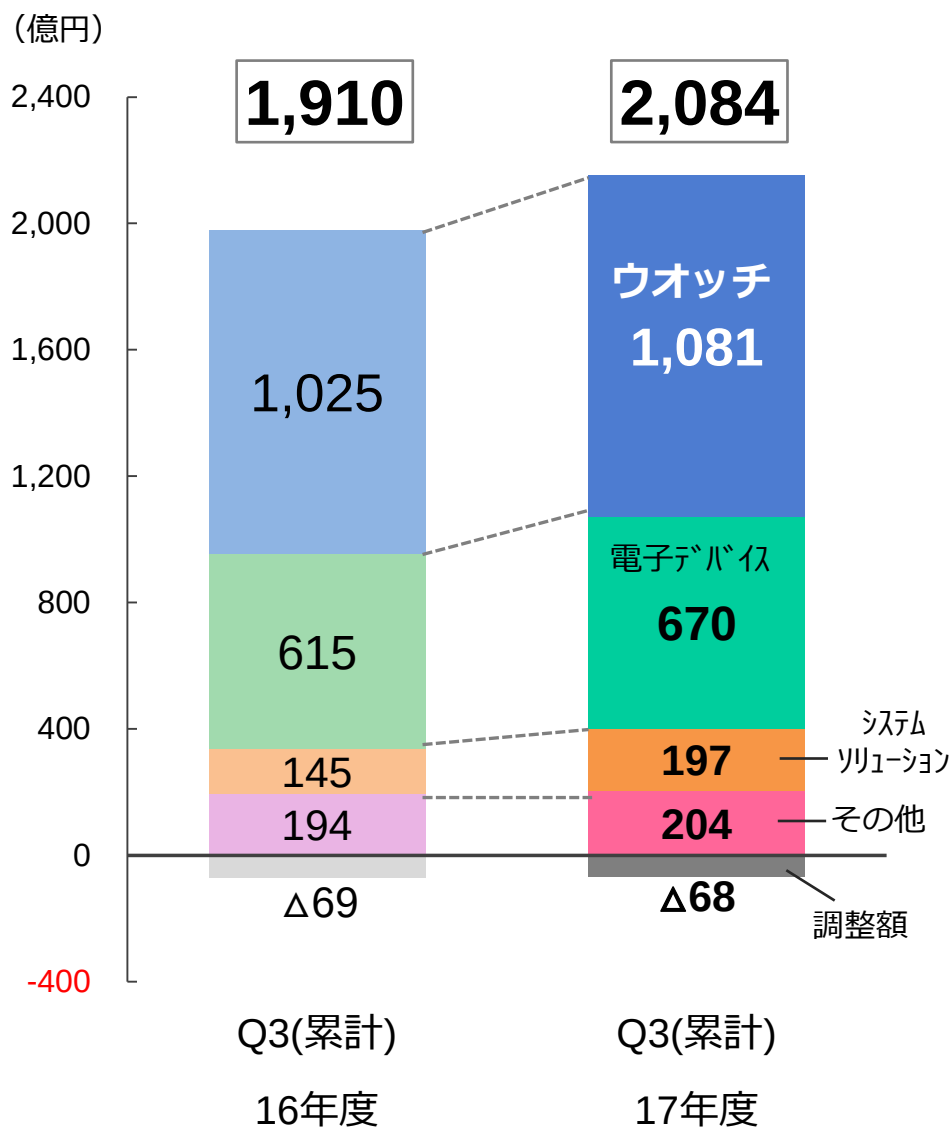
売上高： 対前年 +174
為替による影響 約+55

営業利益： 対前年 +58
売上高増加による影響 +66
売上総利益率改善による影響 +13
販売管理費増加 △21

経常利益： 対前年 +64
営業利益増加 +58
持分法投資損益改善 + 3
支払利息減少 + 3
その他 △ 0

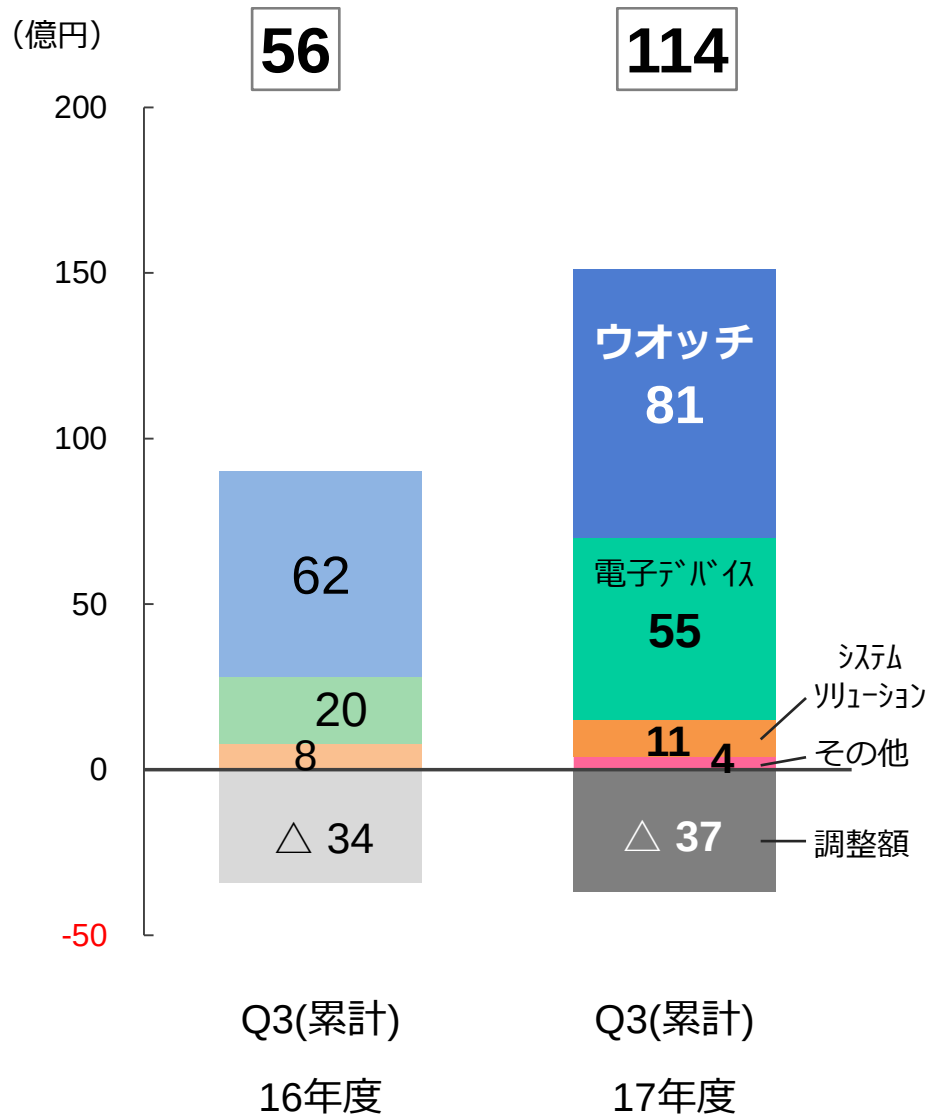
特別損益内容： △14
特別損失 △14
事業構造改善費用 △12
関係会社清算損 △ 1

事業別売上高 – 第3四半期（累計 4月-12月） –



(億円)	売上高 (構成比)		
	16年度 Q3(累計)	17年度 Q3(累計)	増減
ウオッチ事業	1,025 (54%)	1,081 (52%)	+55
電子デバイス事業	615 (32%)	670 (32%)	+55
システムソリューション事業	145 (8%)	197 (9%)	+52
計	1,786	1,949	+163
その他	194 (10%)	204 (10%)	+10
調整額	△ 69 (△4%)	△ 68 (△3%)	+0
連結計	1,910	2,084	+174

事業別営業利益 – 第3四半期（累計 4月-12月） –

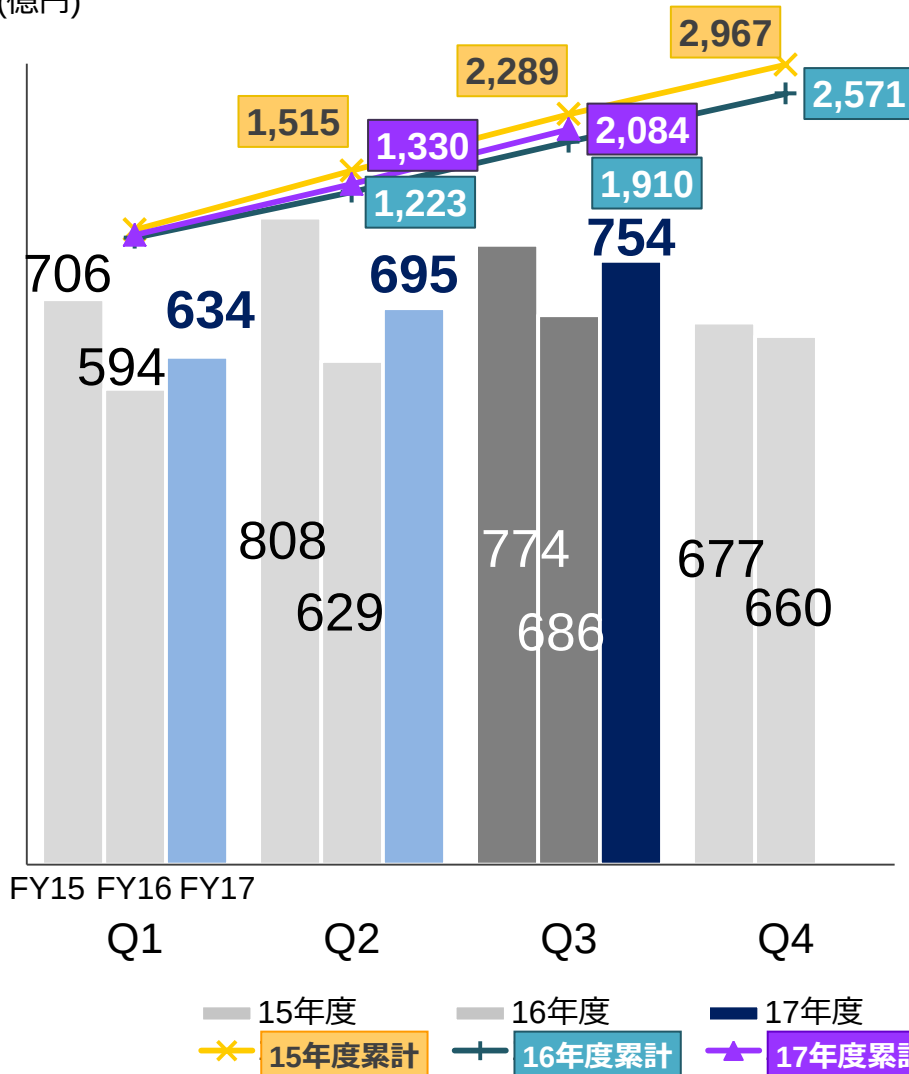


(億円)	営業利益		
	16年度 Q3(累計)	17年度 Q3(累計)	増減
ウオッチ事業	62	81	+18
電子デバイス事業	20	55	+35
システムソリューション事業	8	11	+2
計	91	147	+56
その他	△ 0	4	+4
調整額	△ 34	△ 37	△ 3
連結計	56	114	+58

連結四半期推移 – 第3四半期 –

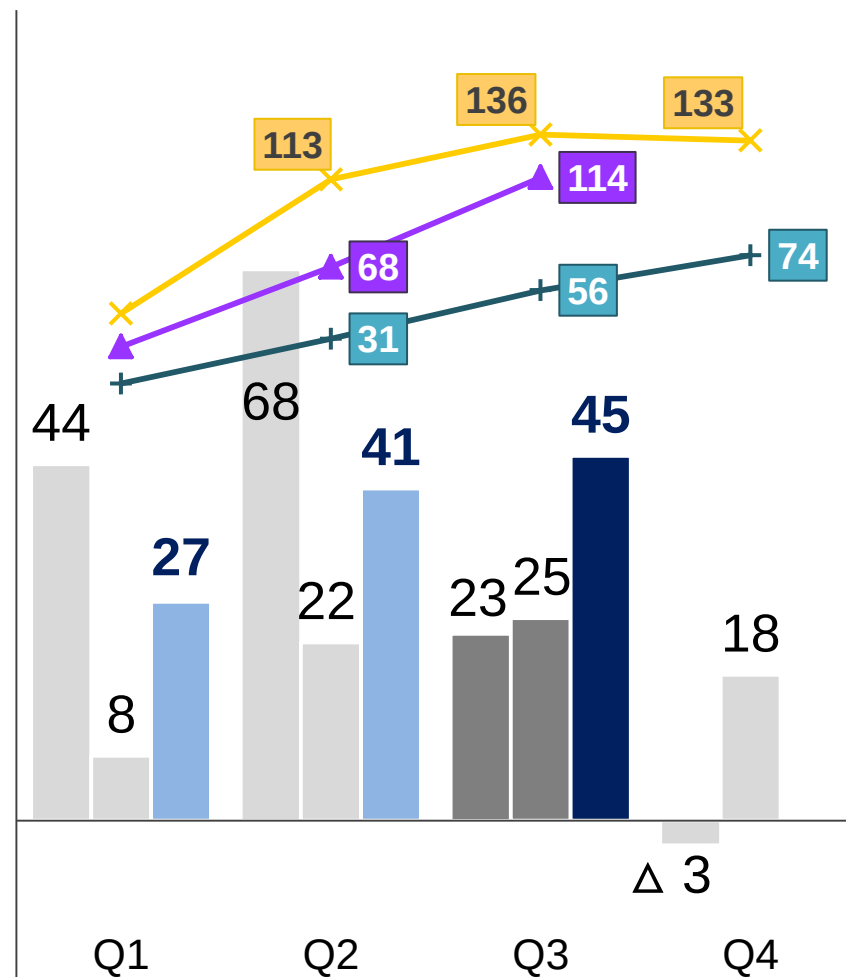
売上高

(億円)



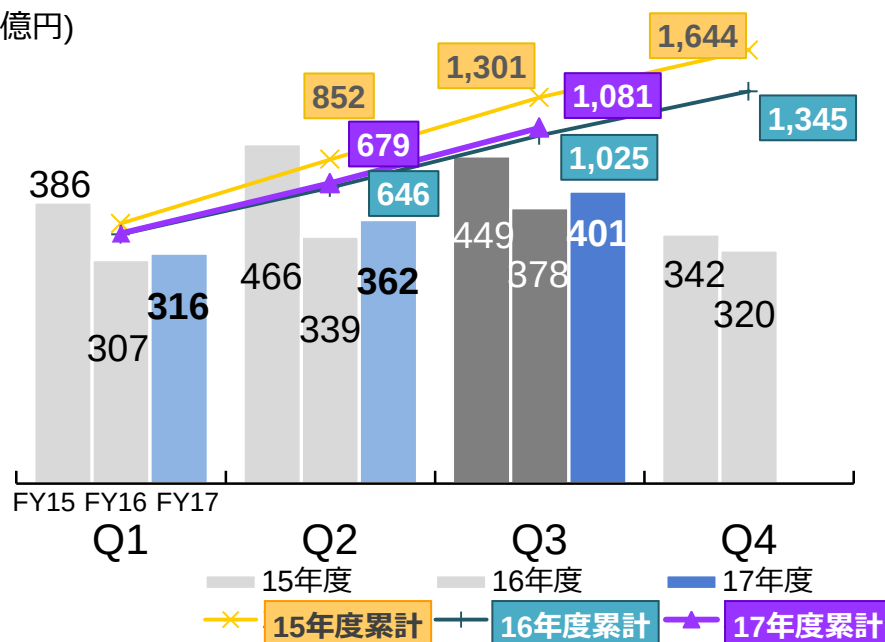
営業利益

(億円)



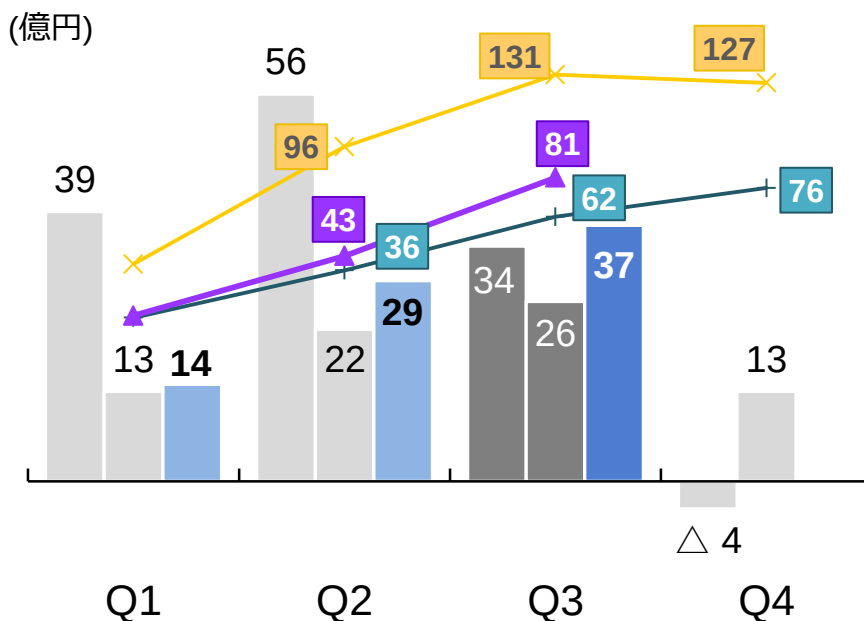
売上高

(億円)



営業利益

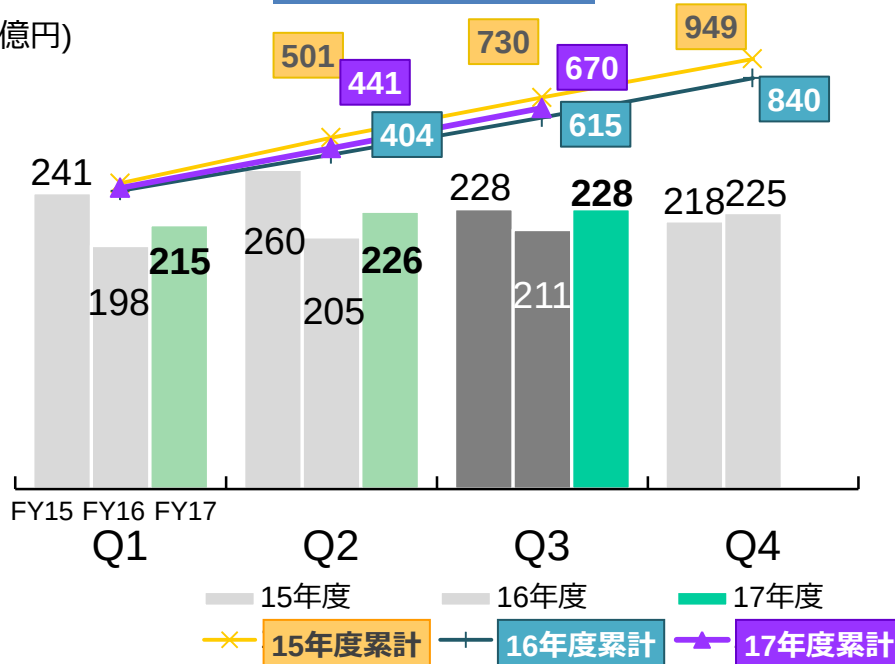
(億円)



- ・完成品ウォッチ： 独立ブランド化した「グランドセイコー」が好調に推移したほか、(国内) 新製品投入により「プレザージュ」「プロスペックス」の売上も前年同期を上回った。流通別では専門店、インターネットおよびアウトレット向けの売上が前年同期比で増加。
- ・完成品ウォッチ： 為替の追い風もありアジアや欧州向けの販売が堅調に推移。(海外)
- ・ムーブメント： 一部製品の市況が回復しつつあり、前年同期の売上を上回った。

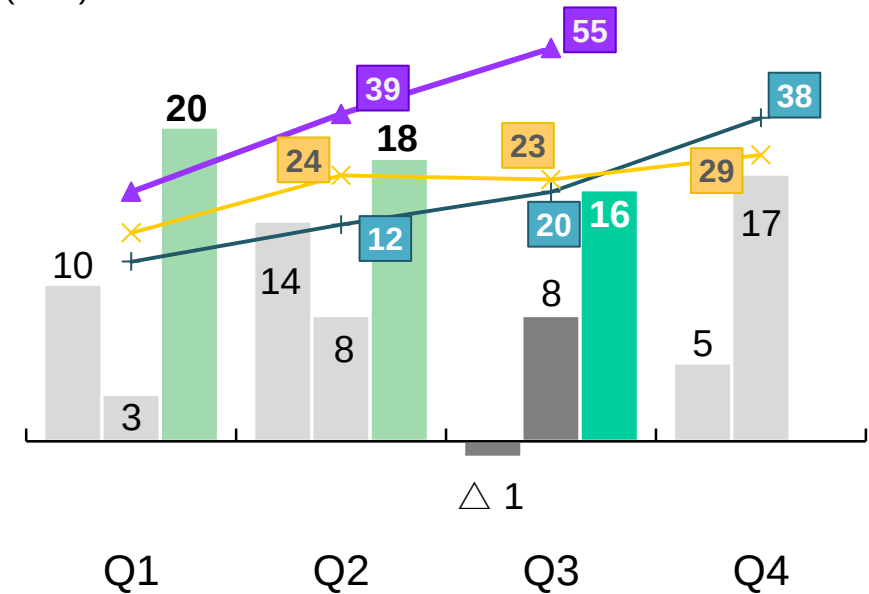
売上高

(億円)



営業利益

(億円)

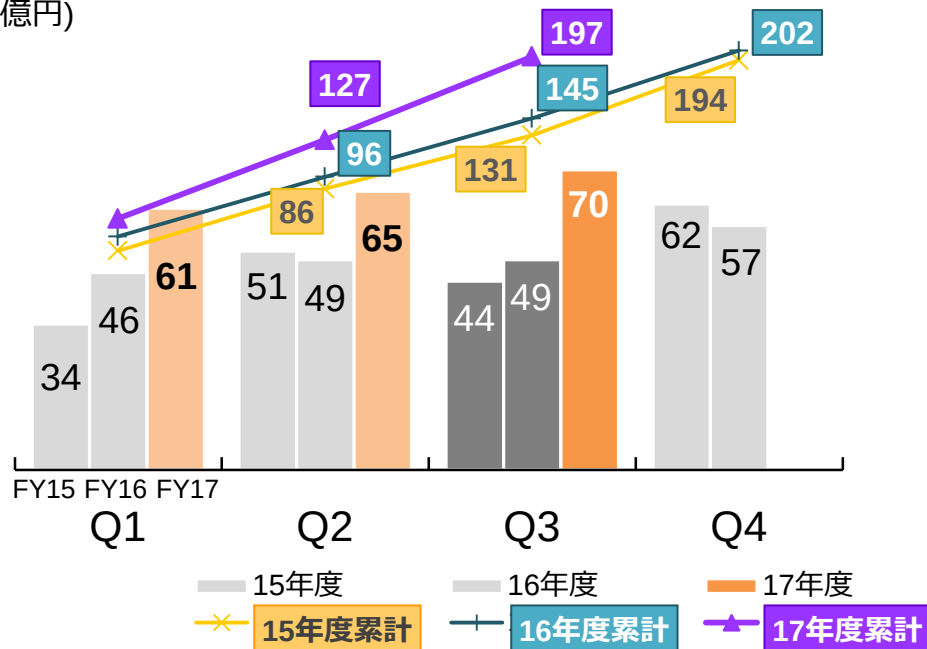


- ・ 電子デバイス : 半導体がスマートフォン向け部品などを中心に好調に推移したほか、半導体製造設備向けの高機能金属製品も順調。
- ・ その他 : POS端末用のサーマルプリンターなどが堅調に推移。

第3四半期累計に含まれる半導体事業の損益：売上高 約250億円 / 営業利益 約50億円

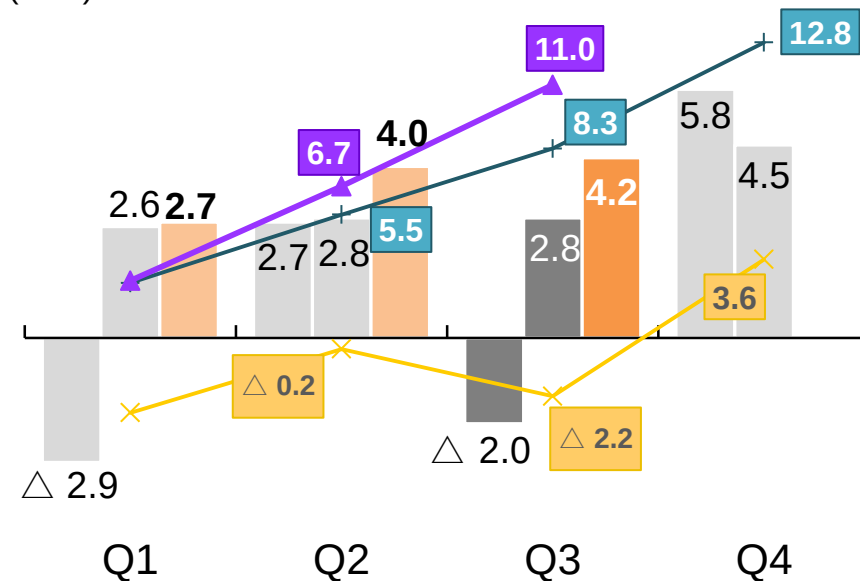
売上高

(億円)



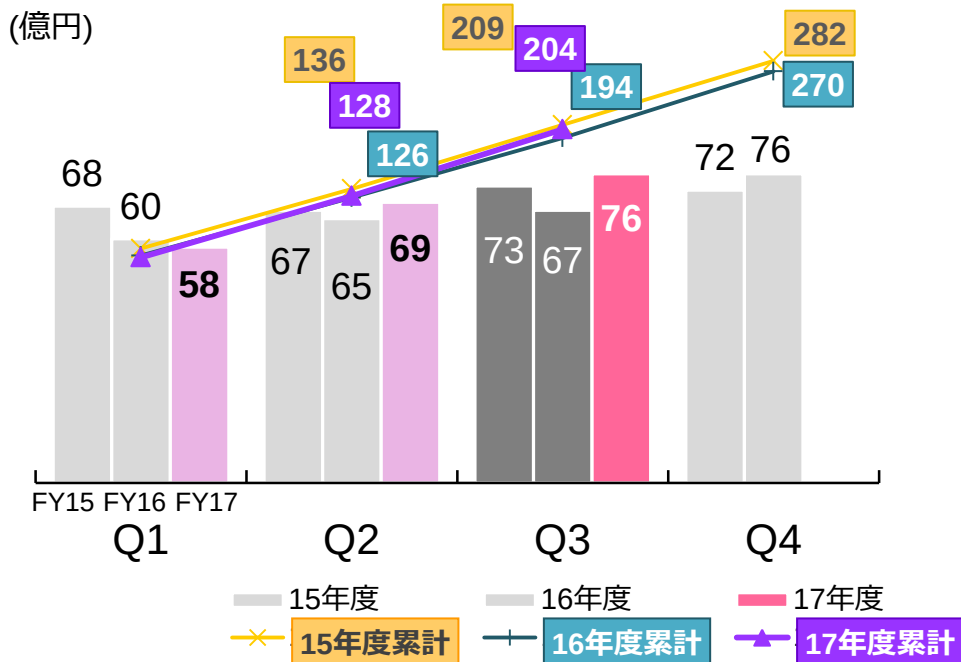
営業利益

(億円)

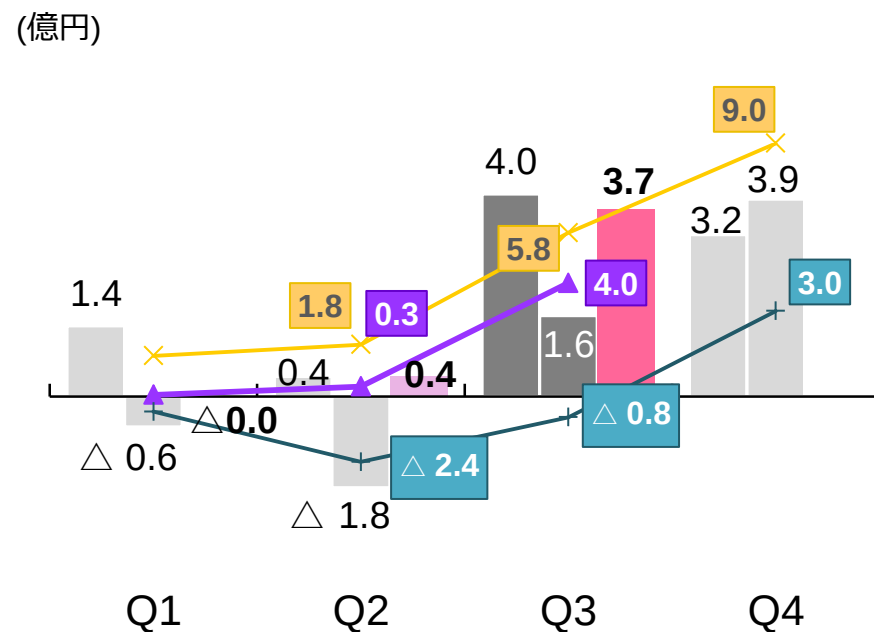


- ・ホームセキュリティや車載向けのモバイルソリューション事業や通信キャリア向けのネットワークソリューション事業などが好調に推移。

売上高



営業利益

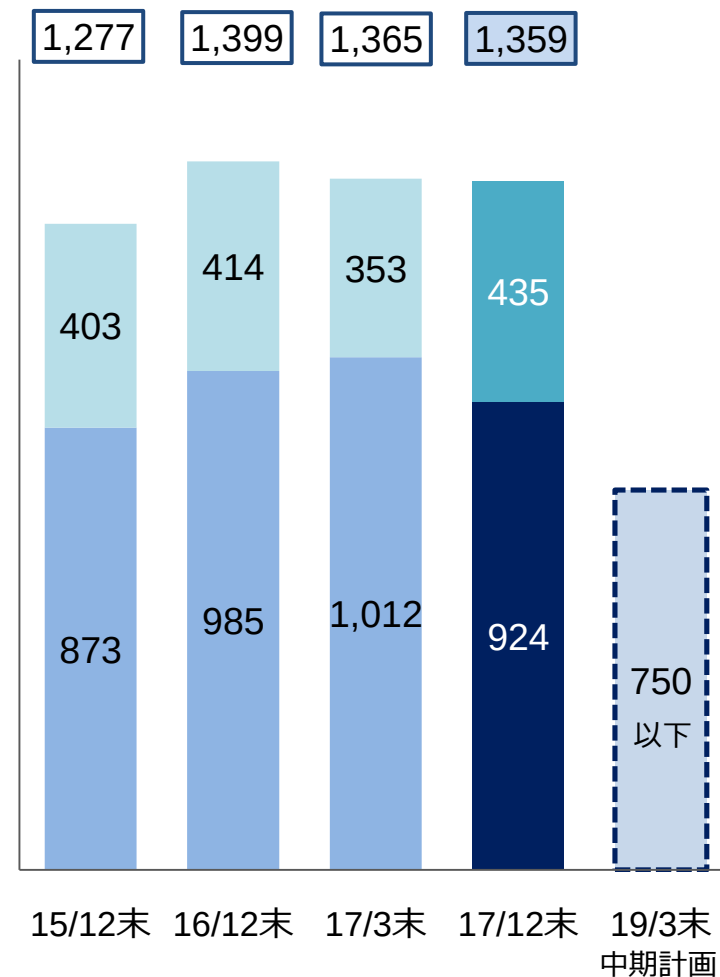


- ・クロック：クロック事業は前年同期から売上高が減少した。
- ・その他：和光事業は前年同期の売上高を上回った。

2017年12月末 貸借対照表

有利子負債

現金及び預金 有利子負債
ネット有利子負債(有利子負債-現金及び預金)

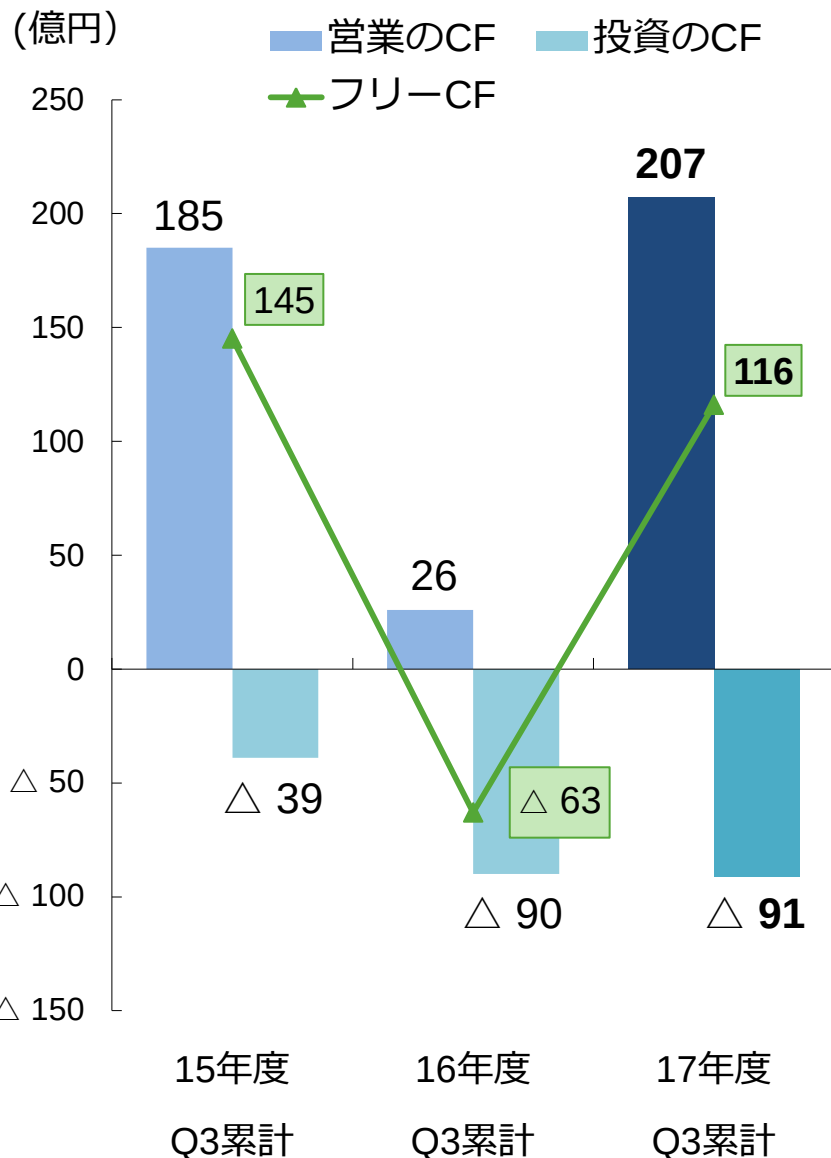


(億円)	15/12末	16/12末	17/3末 (a)	17/12末 (b)	増減 (b)-(a)
棚卸資産	705	711	661	674	+13
有利子負債	1,277	1,399	1,365	1,359	△6

純資産	989	1,046	1,071	1,152	+80
総資産	3,363	3,429	3,288	3,480	+191

自己資本比率	29.1%	27.9%	29.8%	30.1%	+0.2pt
ネットD/E レシオ	0.8	0.9	0.9	0.8	△0.1
従業員数	13,694	13,333	13,065	13,060	△5

キャッシュフロー



	15年度 Q3累計	16年度 Q3累計	17年度 Q3累計
税引前当期純利益	127	48	105
減価償却費	75	80	78
その他	△ 17	△ 102	23
営業のキャッシュフロー	185	26	207
有形固定資産の取得	△ 97	△ 91	△ 44
その他	57	1	△ 46
投資のキャッシュフロー	△ 39	△ 90	△ 91
借入金の借入・返済収支	△ 90	118	△ 7
その他	△ 51	△ 29	△ 36
財務のキャッシュフロー	△ 141	88	△ 44
換算差額等	△ 3	△ 0	4
現金及び現金同等物	403	414	430
フリーキャッシュフロー	145	△ 63	116

2. 2017年度の見通し

(億円)	16年度 実績	17年度 通期 見通し (11/14)	17年度 通期 見通し (2/14)	対前期 増減	対前回 増減
売上高	2,571	2,700	2,700	+128	±0
営業利益	74	90	90	+15	±0
%	2.9%	3.3%	3.3%	+0.4pt	±0.0pt
経常利益	66	100	100	+33	±0
%	2.6%	3.7%	3.7%	+1.1pt	±0.0pt
親会社株主に帰属 する当期純利益	53	100	100	+46	±0
%	2.1%	3.7%	3.7%	+1.6pt	±0.0pt

2017年度 見通し – 事業別売上高・営業利益 –

(億円)	売上高				
	16年度 実績	17年度見通し		対前期 増減	対前回 増減
		前回 (11/14)	今回 (2/14)		
ウォッチ	1,345	1,400	1,400	+54	±0
電子デバイス	840	820	820	△20	±0
システムソリューション	202	260	260	+57	±0
計	2,389	2,480	2,480	+90	±0

その他	270	290	290	+19	±0
-----	-----	-----	-----	-----	----

調整額	△88	△70	△70	+18	±0
-----	-----	-----	-----	-----	----

連結計	2,571	2,700	2,700	+128	±0
-----	-------	-------	-------	------	----

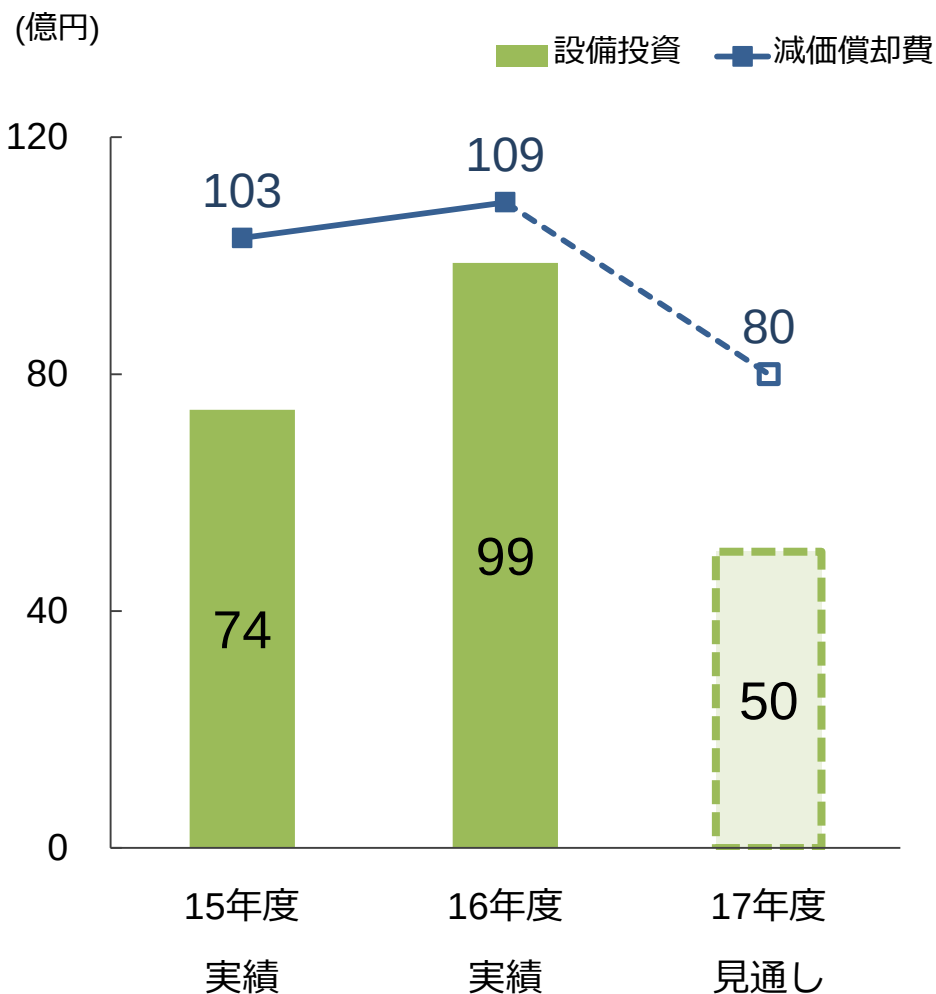
	営業利益				
	16年度 実績	17年度見通し		対前期 増減	対前回 増減
		前回 (11/14)	今回 (2/14)		
	76	70	70	△6	±0
	38	55	55	+16	±0
	12	15	15	+2	±0
	127	140	140	+12	±0

	3	5	5	+1	±0
--	---	---	---	----	----

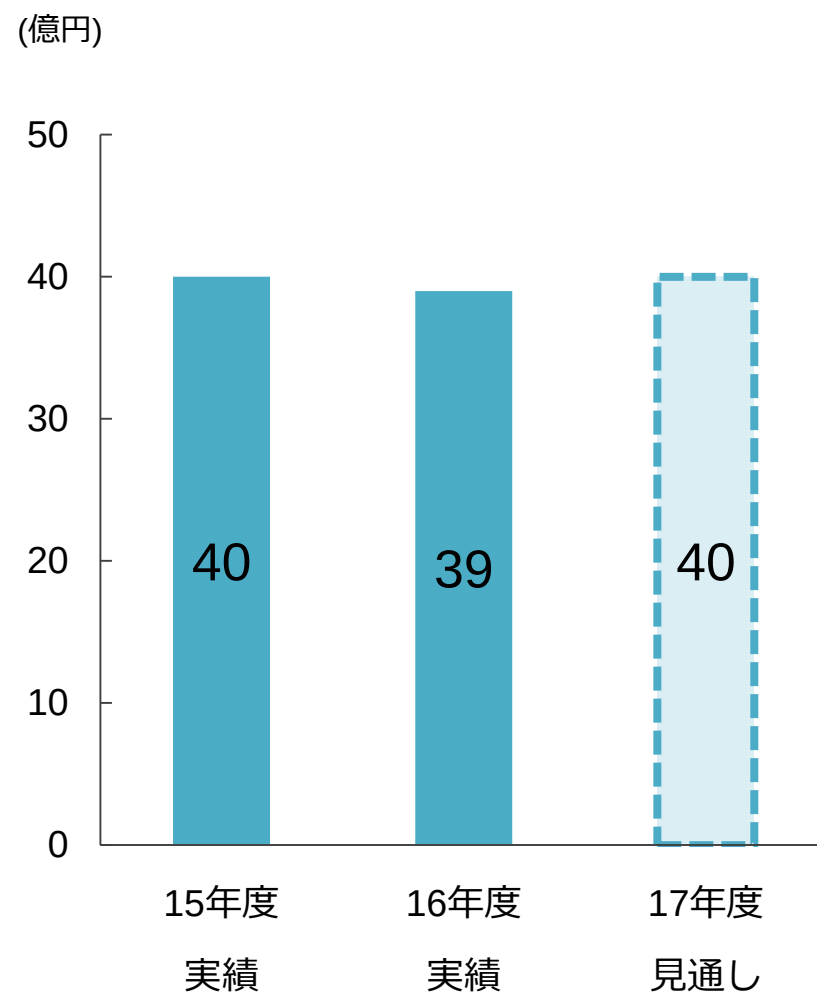
	△55	△55	△55	+0	±0
--	-----	-----	-----	----	----

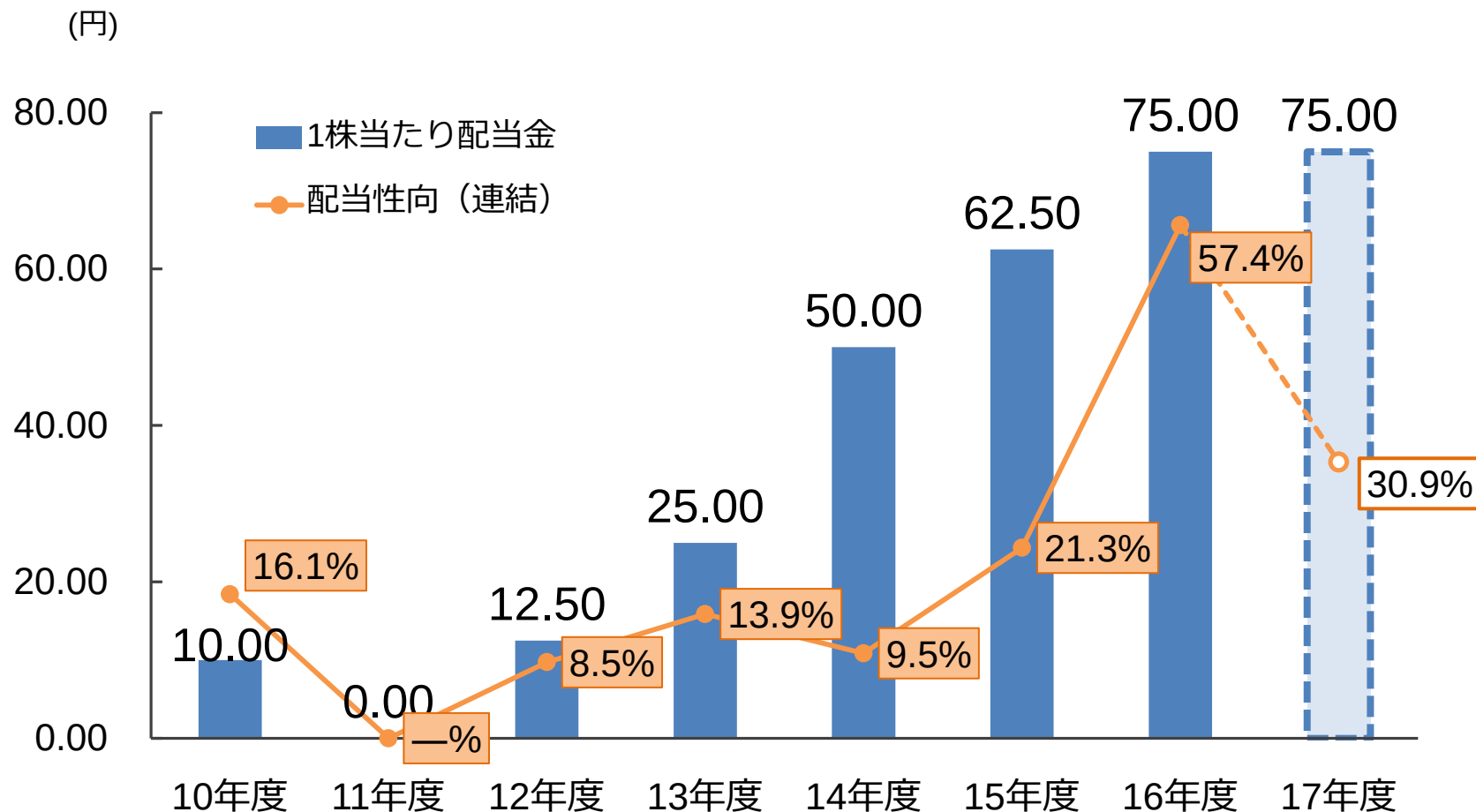
	74	90	90	+15	±0
--	----	----	----	-----	----

設備投資・減価償却費



研究開発費





※ 17年10月1日付で普通株式5株につき、1株の割合で株式併合を行っております。
 上記は株式併合を考慮した場合の年間配当金となり、期末配当金につきましては37.50円を
 予定いたしております。

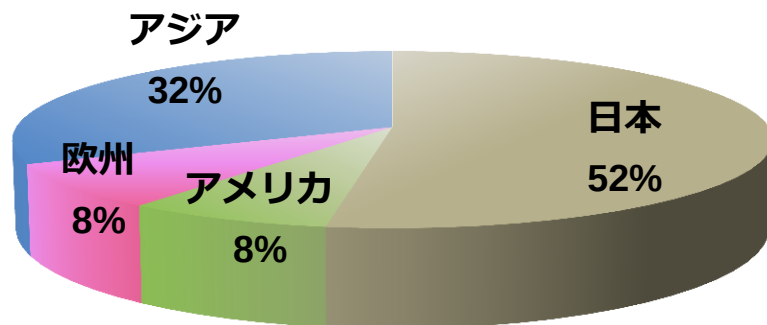
2017年度 見込期間為替感応度 (3か月分)

感応度	USD	EUR
見込レート	105.0円	125.0円
売上高	約2.0億円	約0.3億円
営業利益	約0.2億円	約0.1億円

2017年度

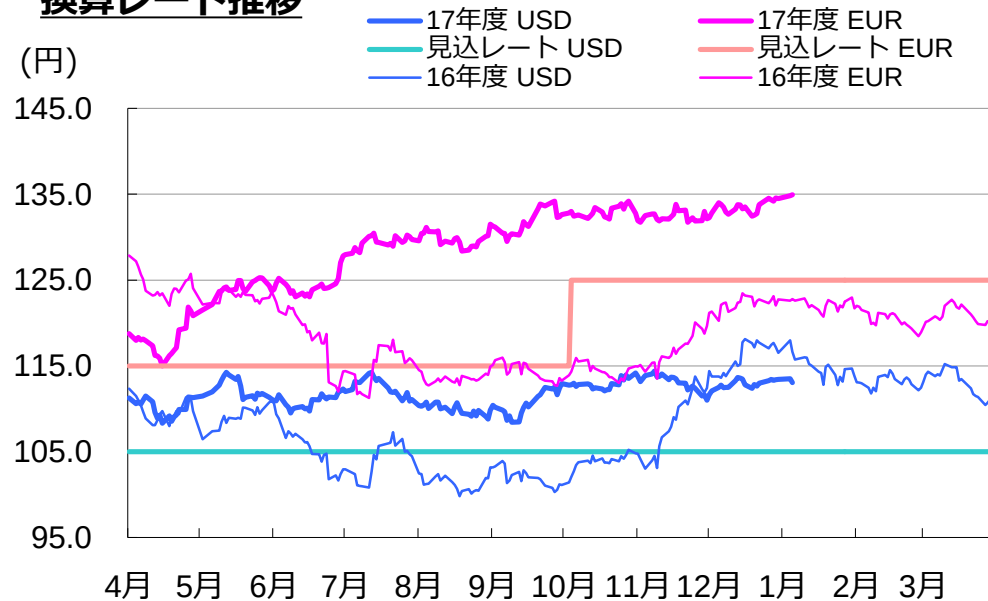
(円)		Q1	Q2	Q3	見込レート
平均レート	USD	111.1	111.0	112.9	105.0
	EUR	122.2	130.3	133.0	125.0
決算日レート	USD	112.0	112.7	113.0	105.0
	EUR	127.9	132.8	134.9	125.0

地域別売上高比率



* 2016年度実績値

換算レート推移



◆ 将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

参考

2017年度 損益 – 第3四半期（期間 10月-12月） –

(億円)		16年度 Q3	17年度 Q3	増減	
				増減額	増減比
売上高		686	754	+68	+9.9%
売上総利益		258	292	+33	+13.1%
%		37.6%	38.7%	+1.0pt	
営業利益		25	45	+20	+81.0%
%		3.7%	6.0%	+2.3pt	
経常利益		37	49	+12	+32.2%
%		5.5%	6.6%	+1.1pt	
税金等調整前 四半期純利益		36	46	+10	+29.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		21	20	△1	△5.8%
%		3.1%	2.7%	-0.4pt	
換算 レート	USD	109.4	112.9	+3.5	+3.2%
	EUR	117.8	133.0	+15.1	+12.9%

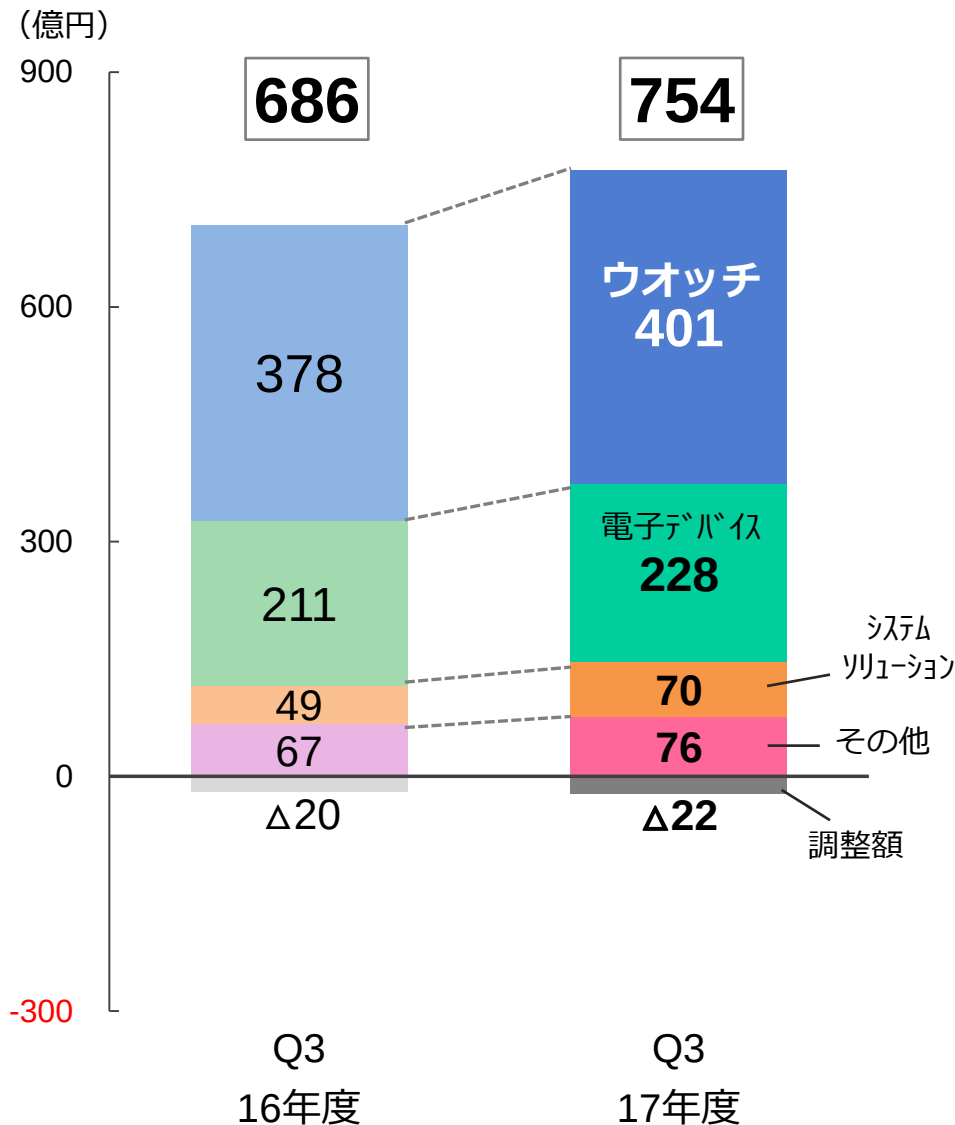
売上高：	対前年	+68
為替による影響		約+18

営業利益：	対前年	+20
売上高増加による影響		+26
売上総利益率改善による影響		+ 7
販売管理費増加		△13

経常利益：	対前年	+12
営業利益増加		+20
為替差損益悪化		△10
持分法投資損益改善		+ 1
支払利息減少		+ 1
その他		△ 0

特別損益内容：	△ 3
特別損失	△ 3
事業構造改善費用	△ 3

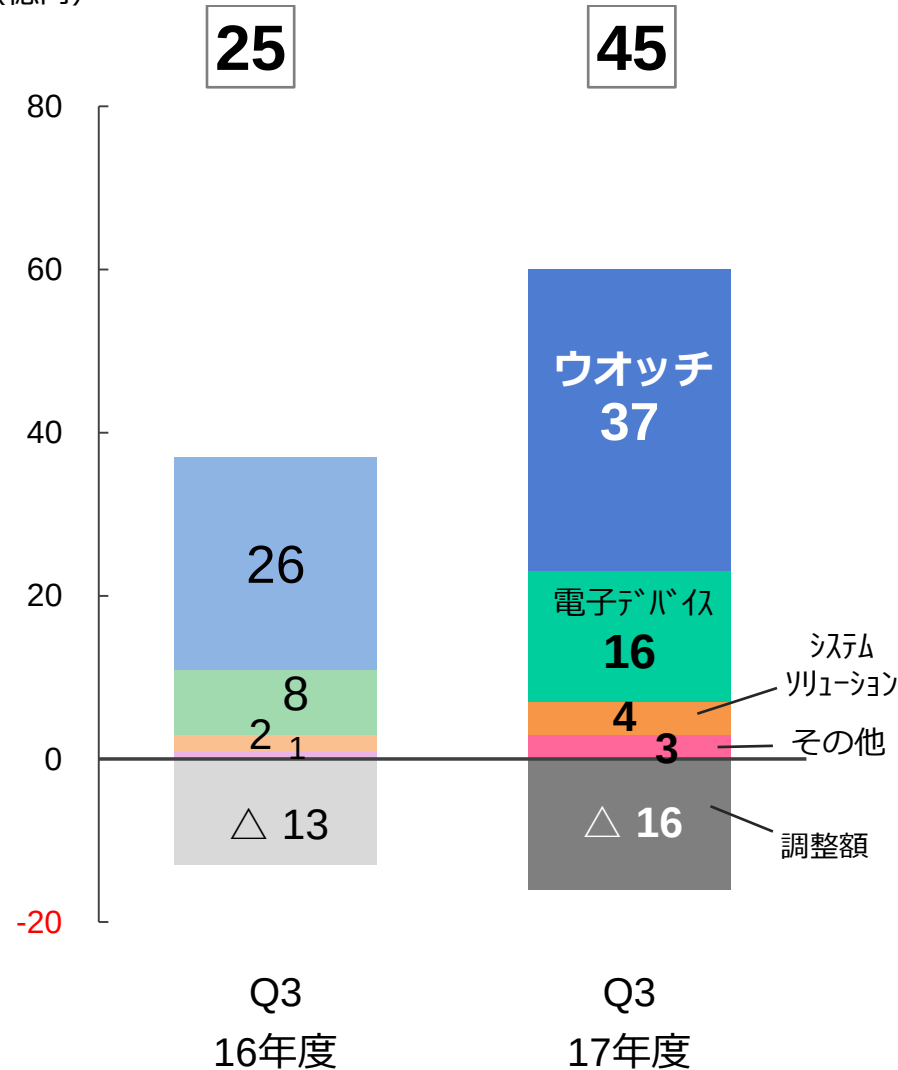
事業別売上高 – 第3四半期（期間 10月-12月） –



(億円)	売上高 (構成比)		
	16年度 Q3	17年度 Q3	増減
ウオッチ事業	378 (55%)	401 (53%)	+23
電子デバイス事業	211 (31%)	228 (30%)	+17
システムソリューション事業	49 (7%)	70 (9%)	+21
計	638	700	+61
その他	67 (10%)	76 (10%)	+8
調整額	Δ 20 (Δ3%)	Δ 22 (Δ3%)	Δ 2
連結計	686	754	+68

事業別営業利益 – 第3四半期（期間 10月-12月） –

(億円)



(億円)	営業利益		
	16年度 Q3	17年度 Q3	増減
ウオッチ事業	26	37	+10
電子デバイス事業	8	16	+8
システムソリューション事業	2	4	+1
計	37	57	+20
その他	1	3	+2
調整額	△13	△16	△2
連結計	25	45	+20

End
